

# かしわ もり 柏葉の杜



学校だより NO. 26  
令和元年12月9日  
八頭町立八東小学校  
電話71-0108 FAX71-0107

## ○年賀状書き体験の取り組みから ～ 自筆の文字の温かさ ～

【左から加藤局長・森田局長・石川局長】

12月も半分近くなりました。先週、5日には全校で年賀状書きに挑戦しました。事前に年賀状を出す相手や文面・内容を考え準備し、当日は、真新しい今年の年賀状にむかいました。

当日は、3名の郵便局長さんに来校頂き指導を受けました。丹比郵便局の石川局長さん、八東郵便局の森田局長さん、池田郵便局の加藤局長さんに、3時間目は1年から3年、4時間目は4年から6年に分かれて指導して頂きました。

下学年の児童は、郵便番号を書く位置や宛名の書き方など、基本的な部分から指導して頂きました。みんな緊張しながらも、ていねいな字で宛名を書き、年賀状書きに挑戦しました。1年生は全員が初めての経験でしたが、みんな上手に書き上げていました。

「また、書きたいです。」と感想を発表する子供もありました。



相手の人のことを思いながら年賀状を書く。その人にとって来年もいい一年でありますように、そんな思いで年賀状を書く。大切な日本の文化だと思います。確かに、メールやラインがどんどん普及し、年末に年賀状を書く習慣は、次第に薄れてきています。しかし、「手紙を書く、葉書を書く、年賀状を書く」という営みは、手間はかかっても大切な文化だと思います。1年生から6年生までの子供たちが、一心に、白い年賀状にむかう姿、とてもすばらしい姿でした。

ところで、2時間の授業が終わり、3名の郵便局長さんが、後で校長室に来られ、今日の活動について振り返りをした際、みなさんが異口同音で言われたのは、「子供たちが、年賀状に向かい、静かに書く姿に驚きました。」という内容でした。「書く」ということを大切に、日々の授業で積み上げて来たことが、年賀状を1枚書く場面でも、自然ににじみ出てくる、日々の学習の成果だと実感しました。

可能であれば、是非、この年末に各家庭で子供たちに、年賀状を書かせてみて下さい。年賀状が来たときの喜びは、忘れられない思い出にきっとなります。



## ○来年に向けての準備を ～ 5年生・4年生の成長を見つめて ～ 【ペアの園児との交流】



子供は、いろいろな経験を通して成長します。そして、自分自身の役割や立場を実感したとき、次のステップへと進んでいきます。自らを高めていく力を持っています。今、5年生・4年生が、自分たちの役割を自覚しながら、高学年に向かって、一歩ずつ経験を積みながら成長しています。

5年生は、来年入学する八東保育園年長のきりん組のみなさんと「わくわく交流会」をしています。11月13日（水）には、来年の春に向けて、チューリップの球根を一緒に植え、その後は、5年生がそれぞれ考えた楽しい遊びを、ペアの年長のみなさんに教えてあげ、一緒に楽しみました。年長の子供たちの思いや気持ちを受け止めながら、活動する5年生の姿が印象的でした。今月23日（月）には第2回目の「わくわく交流会」を予定しています。

【チューリップ球根植え】



また、同じく来年、5年生として高学年になる4年生も、今年は、「みどりの少年団」活動にがんばっています。春に結団式を行い、プランター作りから、花の苗植えや手入れに取り組んできました。今も、学校の玄関には、たくさんの冬の花が咲いています。これらは4年生のみんなが活動して植えてくれた花々です。今、毎朝、4年生がパンジーの枯れた花弁を摘み取り、世話をする姿を見ることがあります。学校の玄関を飾る花々を自分たちで世話していく。そうした活動を通して、4年生も一歩、一歩成長しています。自分たちの学校での存在。それを「みどりの少年団」の活動を通して確認しながら成長しています。「自己有用感」も育っています。来年の高学年の活躍に期待します。

【パンジーの苗植え】

## ○初雪の日のクリスマスコンサート ～ 楽しい歌のひととき ～



クリスマスらしい雰囲気を感じる初雪が降り積もった6日の日。今年も合唱指導で年間通して御世話になっている西岡恵子先生の主催の「プレヴィス キンダーリート アンサンブル」のみなさんに、クリスマスコンサートを開催して頂きました。

演奏曲は、絵本オペレッタ「クラバート～水車小屋の魔法少年～」の演奏でした。この劇の原作は、ドイツの児童文学作家オトフリート・プロイスラーによる名作ファンタジー小説「クラバート」です。17世紀ヨーロッパ。長きにわたる戦争の中で孤児になった14歳の少年クラバートは、不思議な声に導かれ、とある峡谷の水車小屋にたどり着く。そこには「親方」と呼ばれる大男がおり、彼のもとで11人の少年たちが住み込みで働いていた。クラバートは少年たちと一緒に見習いとして働きはじめます。しかし、実はそこは黒魔術を教える魔法学校だった。そんなお話です。今回は、原作を少し変更し、メンバーの方が、脚本を書かれ絵本オペレッタ劇を作られたそうです。スクリーンの映像を背景に、歌と劇が演じられ、1年生から6年生まですっかり劇の世界に浸りました。開幕から30分ほどの劇でしたが、みんな集中して見入り・聞き入りました。

クラバートが愛や友情の力で、魔法使いの「親方」の人を石に変える魔法をやぶり、水車小屋の仲間を人間に戻す。そんなお話でした。メンバーの方の美しい声に子供たちは、感動していました。終わりのあいさつをした上田藍未さんも、そんな感想を発表してくれました。また、劇の映像は、背景の絵や出てくる人形など全てメンバーのみなさんの自作とのことでした。昨年のクリスマスコンサートは「いなばの白ウサギ」のオペレッタでした。今年はまた趣の異なるヨーロッパの雰囲気を感じる素敵な絵本オペレッタでした。この劇の原作は、図書館にあります。是非、原作も読んでみては如何でしょうか。

## ○「租税教室」実施 ～ 将来の社会人となるための勉強・キャリア教育の一環として ～

毎年、6年生を対象に「租税教室」を開いています。今年も先日3日に役場税務課の矢部さんに来て頂き、1時間・社会科の学習として、税金の種類や税金の使い道、そして、税金の必要性などについて話を聞き、パンフレットなどから学習しました。最近では、消費税8%・10%が話題で、子供たちも「消費税」に関しては、よく知っていました。また、中には、「所得税」という言葉を使う6年生もいました。きっと最近のニュースを見て勉強しているのでしょうね。

日々の生活の中の様々な税金について学ぶ機会となりました。「納税は国民の義務です」という言葉が、子供たちの心にしっかり残ってほしいです。「国民の義務と権利」「税金や納税」について家庭でも是非、話題にしてみてください。



## 《 表彰関係 ～ 一人一人の成長やがんばりから ～ 》

### ○第67回鳥取県児童生徒読書大会

- (1年生) ・硬筆の部 【特選】 澤田旭斗 【準特選】 川西里緒 中西ゆい 大平 楓  
 (2年生) ・硬筆の部 【特選】 安部颯吾 中田志和 【準特選】 小椋玲輝 中村颯一郎 藤田真之介  
 下田紘慎 山本洵 坂田涼太 大塚澗  
 ・毛筆の部 【県最優秀賞】 山本洵  
 (3年生) ・毛筆の部 【特選】 内田陽菜 森岡莉子 小林陽依 大山煌成 【準特選】 内藤大翔 垣田康亮  
 川村桂輔 森田芯 橋本真希 竹内咲都  
 (4年生) ・毛筆の部 【特選】 小椋紗奈 中嶋悠介 大村さくら 【準特選】 小谷楓 坂本ゆりか  
 (5年生) ・毛筆の部 【県最優秀賞】 西田佳夏 【特選】 大村紗代 山根優菜 橋本梨花  
 【準特選】 盛田愛菜  
 (6年生) ・毛筆の部 【特選】 歳岡煌大 藤田陽瑠 【準特選】 藤原愛 大村宗磨 林田彩乃

### ○八頭町図書館川柳コンテスト

優秀賞 5年 朝倉陽斗 佳作 1年 久保田萌唯

### ○ノートチャンピオン 11月 今月は「自学」のノート

- (1年) 川西里緒 板持奏羽 (2年) 中村颯一郎 (3年) 内田陽菜  
 (4年) 小椋紗奈 (5年) 大呂亮太郎 (6年) 樋引美菜穂

### ○読書チャンピオン

- (1年) 中西ゆい (2年) 大村かりん (3年) 西川海愛  
 (4年) 西山和奏 (5年) 山部瑞季 (6年) 藤原愛

